

**第3問** 日本の違憲審査制度についての次の①から④まで記述のうち、正しいものを1つ選びなさい (解答欄 18)。

- ① 審査の対象は法律だけで、個別の行政処分等の合憲性の審査を行うことはできない。
- ② 違憲とされた法律の規定は、当然に一般的に無効となる。
- ③ 法律の合憲性は、具体的な事件に関する訴訟において、審査される。
- ④ 違憲審査権は、下級裁判所にはなく、最高裁判所にのみ属する。

**第4問** 選挙制度についての次の①から④までの記述のうち、最も適当なものを1つ選びなさい (解答欄 19)。

- ① 小選挙区制の下では、多党制になる傾向がある。
- ② 比例代表制の下では、事実上の政権選択の選挙となる傾向がある。
- ③ 小選挙区制の下では、比例代表制よりも死票が少なくなる傾向がある。
- ④ 比例代表制の下では、政党中心の選挙となる傾向がある。

**第5問** 人権保障の歴史に関連する次の①から④までの記述のうち、適当でないものを1つ選びなさい (解答欄 20)。

- ① フランス人権宣言では、自然権の保障が宣言された。
- ② イギリスにおける個人の自由の保障は、マグナ・カルタ以来の歴史の中で発展してきた。
- ③ アメリカ独立宣言は、すべての人は平等に作られ、創造主によって一定の奪うことのできない権利を与えられているとした。
- ④ 明治憲法では、言論出版の自由や信教の自由などが天賦人権として保障されていた。

**第6問** 次の①から④の事例のうち、憲法 21 条 2 項によって禁止されている検閲にあたらぬものとして最も適当なものを1つ選びなさい (解答欄 21)。

- ① ネット上の掲示板の書き込みを行政機関が事前に審査して、政府批判を削除する。
- ② 他人の名誉を毀損する内容の新聞記事が発行される前に、特別の行政委員会が審査して削除を命令する。
- ③ 地方自治体による大規模な開発計画案がそのホームページに掲載される前に、地方議会が内容を確認して修正を求める。
- ④ わいせつな内容の DVD が発売される前に、警察が閲覧して内容の変更を求める。

**第7問** 職業の自由を規制する目的に関する次の①から④までの記述のうち、パターンリズムに基づく規制に該当するものとして、最も適当なものを1つ選びなさい (解答欄 22)。

- ① 過度の飲酒は健康に有害であるが、飲酒量を自己でコントロールすることは難しいことから、飲酒者の過度の飲酒を防止するため、小売店において一度に購入できる種類の量を制限する。
- ② 薬局を自由に開設できるようにすると、過当競争が発生し、副作用の恐れのある薬品が十分な説明なしに販売されるおそれがあることから、濫立を防止するため、薬局の適正配置を開設の許可要件とする。
- ③ 喫煙は、喫煙者に肺がん等の疾患をもたらし、社会医療費上昇の一因となっていることから、社会医療費の増加抑制のため、たばこの広告を全面的に禁止する。
- ④ 消費者が自宅などに不意の訪問を受けて勧誘されるなど、自らの意思がはっきりしないままに契約